

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域密着型という理念の下 地域に根差したを目標に掲げているがコロナ禍ということもあり現状難しいことがありどう地域とのかかわりを今後持っていくかが課題となる。	団体での係わりだけではなく少人数での係わりなども取り入れながら面会方法などに対しても工夫をしていく。それにより少しでも地域とのかかわりを持てればと考えています。	環境の整備(コロナ禍においても対応できるように)少人数におけるの行事の催し。	12ヶ月
2	4	運営推進会議については書面での開催となってしまった事もあり対面でのご家族様・町内会様と対面での開催が行えなかった。	対面での開催だけではなく今後長引くであろうコロナ禍においてどう工夫して運営推進会議を開催していくか書面だけではなく他の方法を見つけていく。ズームなど。	環境設備の整理、状況を考慮しそれが行えなければ書面での開催を行い状況を知って頂く。	12ヶ月
3	20	馴染みの人や場との関係継続支援については面会制限などもあり外泊・外での行事などに対するの参加や許可が行えなかった。	コロナの状態によっては面会制限を解除するなど臨機応変な対応が必要。また面会のあり方を1から考えながら対応していく。外泊についてはしばらく様子を見ながらも特別なとき以外は今後も難しいと考えられる。	面会時のシールドの利用・抗原検査などコロナに対するの防御に努めながら取り組んでいく。また世の中の感染者数にも注視していく。	12ヶ月
4	49	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援することに日課にしてしまうこともありすべての利用者様に対して毎日行えているかといえれば難しいこともあり対応できていなかった。	事故防止の観点から毎日希望に沿っては難しい所もあるが利用者様の希望を聞き外出の好きな方に対しては近隣への散歩や日光浴を行えるようにする。また外が苦手な人に対しては運動の観点から体操などその人に合わせたことを行っていく。	本人様に対しての聞き取りや声掛けなどを増やしていきながら出来るだけ希望に添えるよう対応していく。また担当者様を決め職員も自覚をもって利用者様に対して対応してもらえればと考えています。	12ヶ月
5					ヶ月